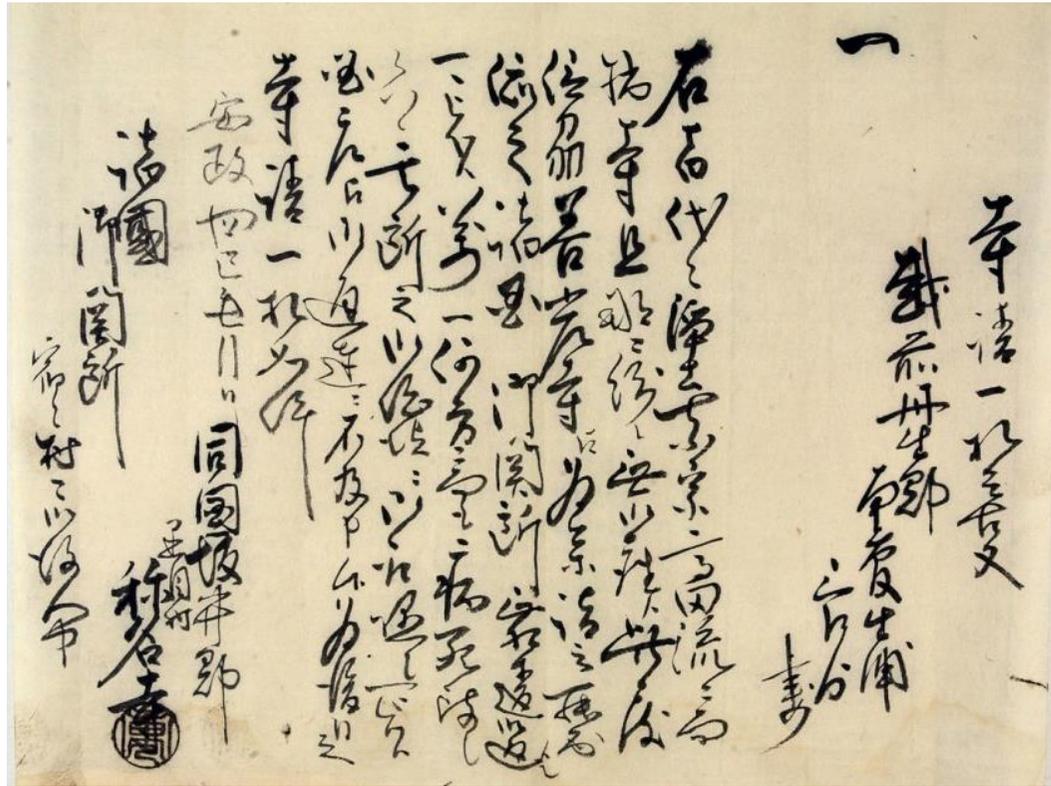


# 往来手形（江戸時代のパスポート）



1857年「寺請一札之事（南菅生浦三左衛門妻、善光寺参詣）」

松田三左衛門家文書（当館蔵）[デジタルアーカイブへ](#)



<p>諸国 御関所 宿々村々御役人中</p>	<p>安政四巳七月日同国坂井郡 黒目村 称名寺（印）</p>	<p>右者代々浄土真宗高田流ニ而 拙寺且那ニ紛レ無御座候、此度 信州善光寺江為参詣之罷出、 依之諸国 御関所無相違御通シ 可被下候、万一何方ニ而も病死致し 候ハ、其所之御作法ニ御取隠し可被下候 国元江御通達ニ不及申候、為後日之 寺請一札如件</p>	<p>一 南菅生浦 三左衛門 妻</p>	<p>翻刻文 寺請一札之事 越前丹生郡 南菅生浦 三左衛門 妻</p>
--------------------------------	--	--	----------------------------------	---

## 解説

江戸時代の後半になると、庶民の間で旅行ブームが巻き起こりました。その背景としては、戦乱もなく安定した時代になったこと、五街道など交通の整備が進み、各地で宿場町が形成されていったことなどが挙げられます。旅行先は寺社や名所・温泉などが人気でしたが、特に伊勢神宮を参詣する伊勢参りは庶民のあこがれでした。彼らは村ごとに「伊勢講」という団体をつかって旅費を積み立て、くじで代表を選んで交代で参詣しました。

伊勢参りに関しては、各地から民衆が集団参詣する「お蔭参り」が一定の周期で起こりました。例えば、1830年には約430万人が参加したとされます。参宮者には道中、食物などの施行がなされ、のちには頭に笠、手に柄杓というお蔭参りの装束が一般化しました。奉公人や子どもが、通行手形をもたず無断で参加する「抜け参り」もみられました。

## 福井とのかかわり

江戸時代の福井の人々にとって、伊勢神宮への参詣とならんで人気があったのが京都の東・西本願寺への参詣でした。越前は浄土真宗の信者が多かったこともあり、生涯に一度は訪れるべきとする考え方が強かったと考えられています。

ほかには信州の善光寺、天台宗真盛派の総本山近江坂本西教寺、日蓮宗総本山の甲斐身延山久遠寺などがあげられます。善光寺への参詣は19世紀に入る頃から多くなります。純粋に宗教的な動機で出かけている場合が多く、家族で出かける事例も少しはみられますが、一人で出かけることが多いです。日程的には少なくとも1か月、女性の旅だと50日間は必要だったようです。

## 資料の注目ポイント

資料は「往来手形」で、いわゆる旅行許可書（パスポート）です。旅行に先がけて所属する檀那寺に発行してもらいました。手形には旅行者の氏名・居住地・檀那寺のほか、旅の目的などが記され、身分証明書にもなりました。

この文書は南菅生浦（現福井市）に住む三左衛門の妻が信州の善光寺へ参詣するために、檀那寺である浄土真宗高田流の称名寺（現在の坂井市）に発行してもらったものです。

内容は「この人物は当寺の檀家に間違いなく」、「諸国の関所を通してもらうこと」、「旅先で死んだ時はその地の作法で処置してもらうこと」、「死んだ時は国元へ連絡をなくともよいこと」などが書かれています。死んだ時の対応について書かれているのは、当時の旅は長旅であり、旅行者が道中で死ぬことも実際にあったからです。

関連資料、展示等

名称	概要	備考
「寺請一札之事 (南菅生浦三左衛門妻、善光寺参詣)」	松田三左衛門家文書 (当館蔵) 資料番号 A0169-00135	デジタルアーカイブ福井で閲覧可能。 <a href="https://www.library-archives.pref.fukui.lg.jp/archive/da/detail?data_id=011-324749-1-p1">https://www.library-archives.pref.fukui.lg.jp/archive/da/detail?data_id=011-324749-1-p1</a>
福井県文書館月替展示 「よその名勝、ふくいの名所 ーガイドブック今昔ー」	「寺請一札之事 (南菅生浦三左衛門妻、善光寺参詣)」を展示。	当館 WEB にて公開中。 <a href="https://www.library-archives.pref.fukui.lg.jp/fukui/08/m-exhbt/20171123AM/20171123.html">https://www.library-archives.pref.fukui.lg.jp/fukui/08/m-exhbt/20171123AM/20171123.html</a>

参考文献等

『江戸のパスポート 旅の不安はどう解消されたか』(柴田純 2016年 吉川弘文館)

「往来手形考」(五島敏芳 『史料館研究紀要』29 1998年 国文学研究資料館・史料館)

「旅に出る人びと、村を去る人びと：貞享2(1685)年、他国出国者の記録から」(長谷川裕子 『福井大学附属図書館報 図書館 forum』14 2017年 福井大学附属図書館)

『福井県史 通史編4 近世2』(1996年 福井県)

常総市デジタルミュージアム <https://trc-adeac.trc.co.jp/WJ11E0/WJJS06U/0821105100/0821105100600030/?hid=ht301320&word=%e5%be%80%e6%9d%a5%e6%89%8b%e5%bd%a2> (2017年12月17日閲覧)

箱根関所手形 参考館セレクション [http://www.sankokan.jp/selection/life\\_and\\_culture/hakonesekishotegata.html](http://www.sankokan.jp/selection/life_and_culture/hakonesekishotegata.html) (2017年12月17日閲覧)

レファレンス協同データベース [http://crd.ndl.go.jp/reference/modules/d3ndlcrdentry/index.php?page=ref\\_view&id=1000139827](http://crd.ndl.go.jp/reference/modules/d3ndlcrdentry/index.php?page=ref_view&id=1000139827) (2017年12月17日閲覧)

[http://crd.ndl.go.jp/reference/modules/d3ndlcrdentry/index.php?page=ref\\_view&id=1000106271](http://crd.ndl.go.jp/reference/modules/d3ndlcrdentry/index.php?page=ref_view&id=1000106271) (2017年12月17日閲覧)

[http://crd.ndl.go.jp/reference/modules/d3ndlcrdentry/index.php?page=ref\\_view&id=1000059401](http://crd.ndl.go.jp/reference/modules/d3ndlcrdentry/index.php?page=ref_view&id=1000059401) (2017年12月17日閲覧)